

第2学年 総合的な学習の時間 学習指導案

単元名：ポスターセッション「郷土三原のPR」

本単元で育成する資質・能力の重点：課題発見・解決力

- 1 日 時 : 平成29年11月17日(金) 第5校時
- 2 学年・学級 : 第2学年1組(男子19名 女子21名 計40名)
- 3 単元名 : ポスターセッション「郷土三原のPR」
- 4 単元について

(1) 単元観

本単元は、本校第2学年総合的な学習の時間の第2単元である。第1単元では、職場体験学習を中心として自らの夢や進路への手がかりを得るというキャリア学習が主体である。第2単元では、3学期に実施する東京方面での修学旅行内で実施する企業訪問等へ向け引き続き学習を深めていく。東京での企業訪問を通して、主体性をもって自らのキャリア形成への手がかりを得させるとともに、生徒の生活の場としての郷土にも目を向けさせたい。

本年度は、本市の中心的城跡であり戦国時代に起源をもつ三原城の「築城450年」という節目の年であり、三原市としても記念行事を行うなどの取り組みを進めている。本校は三原城が校区内にあるということから、昨年度、本学年生徒は三原城周辺の清掃ボランティアを地域の町内会と協働して実施した。その様子は地域の三原テレビで放映され、インタビュー等で紹介された。

その上で、本年度は地域の良さや課題を自分のこととして受け止め、地域に貢献することを通して自己の生き方を考えさせることをねらいとした学習を行う。郷土の文化や伝統をあらためて見直し、地域の人と関わる中で三原市民としての自覚を育てることは、地域の将来また自分の将来に向けて確かな意義をもつと考える。具体的には、東京への修学旅行の際、事業所訪問学習時に東京の人に向けて、生徒が自身の郷土の良さを観光大使としてPRする活動を計画している。また、英語科との関連を図り、外国人には英語でPR活動を実施させる。このような学習活動を通して、主体的に判断し、課題を発見し解決していくプロセスをフィールドワークを通して協働的に理解させていくことができると考える。

(2) 生徒観

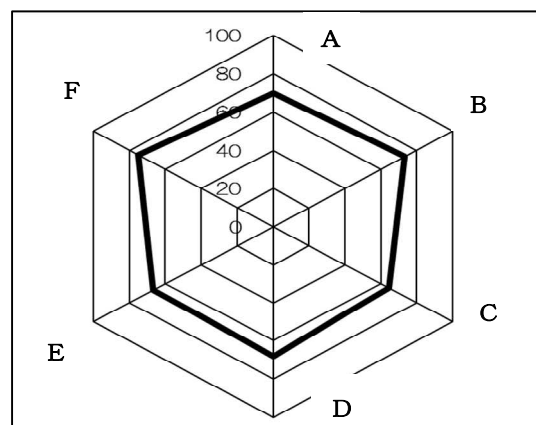
本校の学校教育目標は「日本を担う郷土の”宝”の育成」であり、本校のミッションは「社会のために役立つと志を抱く生徒の育成」である。その達成に向け、本校は三原市NCC(New Challenge Contents)事業指定校として地域との協働学習(「防災学習」等)を実施しているところである。第2学年では、夏季休業中に実施された「職場体験学習」を通して地域の農業や福祉施設等の職場とそこで働く方たちと協働し体験的な学びを推進している。

6月実施の「基礎・基本」定着状況調査の生徒質問紙での、「課題発見・解決学習」と「社会的事象への関心や体験等」についての設問（下表）及びその肯定的回答率は次のとおりであった。

領域	内容	肯定評価
課題発見・解決学習「総合」	「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいます。	70.2%
社会的事象への関心や体験等	自分の住んでいる地域のことが好きです。	90.4%
	外国人と積極的にコミュニケーションを図りたいです。	64.0%

生徒回答によれば、「総合的な学習の時間」での課題発見・解決学習は約7割の肯定評価である。「社会的事象への関心や体験等」では、自分の住んでいる地域への愛着はほとんどの生徒が抱いているが、外国人とのコミュニケーションについてはほぼ6割の肯定評価にとどまっている。そこで、自分たちの住んでいる地域の好きな点（魅力）をもとに、発見した課題を再構成させ情報を収集整理させて発表活動を行い、その過程を通して学習指導要領に定める総合的な学習の時間の目標を達成させたい。本校の地域性としては、校区内には外国人が少ないが、第2学年では、3学期に東京への修学旅行が予定されているので、都会の方や外国人の方にも三原の魅力をPRすることで体験的に社会的事象への関心を高めさせていくことができると考えている。

生徒のコンピテンシーへの自己意識調査を1学期に実施した。（右図：A主体性：B協調性：C創造力：D思考力・判断力・表現力：E課題発見・解決力：F自己理解）それによれば「F自己理解」「B協調性」はほぼ7割が肯定評価であるが、「E課題発見・解決力」「C創造力」が少し弱いと思われるので、課題発見・解決学習を通してコンピテンシーの伸長を図りたい。



(3) 指導観

本単元の指導にあたっては、問題の解決や学習活動に主体的に取り組ませたい。そのための具体的方法として、学習課題「もしあなたが『三原観光大使』に選ばれたらどう三原市をPRするか」を考えさせたい。こうすることで、生徒自身が三原の良さを再発見していくことができると考える。同時に、三原の良さを協働的に探究することで郷土について多角的な理解を得させることができ、ものの見方や考え方を広げさせることができると考える。生徒自らが発見した課題について協働的に解決していく中で、新たな三原の良さを再発見させることが可能となり、このことを通して効果的に創造的・協働的に取り組む態度を育成していきたい。

題材は、再発見した地域の良さのPRであるが、このことは地域に貢献するために自分たちにできることは何かという課題意識につながる。学習に際しては、主体的に学習活動を進めるよう、課題の設定はジャンルごとにグループ化し構造化させておく。必要な情報を得るための収集方法、適切なPR内容及びPRにおける表現方法等の学習過程において、自分たちが次に何をすべきか投げかけて考えさせ、課題に対する意識を継続して高めさせていきたい。

仲間と協働して地域の課題解決に取り組もうとすることにより、三原に生きる一員として、地域を大切に、誇りに思う気持ちを育てていきたい。その上で、言語を用いて分析し、まとめ、表現するなどの学習活動を指導していく。なお、各教科、道徳及び特別活動等で身に付けた知識や技能を相互に関連付け、総合的に働くように指導するものとする。

5 単元の目標

- ・問題の解決や探究活動に主体的・協同的に取り組む態度を育て、「郷土三原のPR活動」を通して自己の生き方を考えることができる。

【中学校学習指導要領 第4章 総合的な学習の時間 目標】

6 単元の評価規準

学習方法	自分自身	他者や社会とのかかわり
① 相手や目的に応じた表現を工夫し、わかりやすく発信している。	① 自ら関心を持って調査したり探究したりしている。	① 異なる意見や他者の考えも生かして、より良い考えを導いている。
② ポスター等を用いて情報を取捨選択して発信している。	② 自己の夢や将来を考えている。	② 自他の考えの良さを生かして、発見した課題を解決している。
③ 聞き手を意識したキャッチコピーを用いて表現している。	③ 新しいアイデアや自分なりの工夫を考えて取り組んでいる。	

7 本単元において育成しようとする資質能力とのかかわり

本校で育成しようとする資質・能力は次の6点。

〈スキル〉 ①創造力 ②課題発見・解決力 ③思考力・判断力・表現力

〈意欲・態度〉 ④主体性 ⑤協調性

〈価値観・倫理観〉 ⑥自己理解

上記の資質・能力のうち、本単元では学習指導要領の目標との関連を図り次の能力の育成に整理する。

時	学習内容	評 価			資質・能力の 評価 (評価方法)	
		学	自	他		評 価 規 準 (評価方法)
1	<p>課題の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の城跡周辺の清掃活動から「三原」の持つ課題について意見を出し合い、課題を発見させる。 ・修学旅行で東京に行き「三原」をPRする計画を立てる。 ・どんな情報が効果的か考える。 <p>例 味わう・学ぶ・泊まる・観る・遊ぶ・買う・楽しむ・おもてなし等</p>		○	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら問題を発見し、意欲を持つようとしている。(自①) ・異なる意見や他者の考えも生かして、より良い考えを導いている。(他①) 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・ワークシート
2	<p>情報の収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「三原」の何をPRしたら効果的かインターネット・パンフレット等でカテゴリーごとに調べて整理する。 	◎	○		<ul style="list-style-type: none"> ・自ら関心を持って調査したり探究したりしている。(自①) ・相手や目的に応じた表現を工夫し、わかりやすく発信している。(学①) 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・ワークシート
3	<p>整理・分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収集した情報を班のメンバーと相談しながら取捨選択し、PRポスターを作成する。 	◎	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・異なる意見や他者の考えも生かして、より良い考えを導いている。(他①) ・相手や目的に応じた表現を工夫し、わかりやすく発信している。(学①) ・新しいアイデアや自分なりの工夫を考えて取り組んでいる。(自③) 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・作品

4	<p>まとめ・創造・表現</p> <p>・収集した情報をまとめ、クラス発表する。 (ポスターセッション)</p>	○	◎	<p>・相手や目的に応じた表現を工夫し、わかりやすく発信している。(学①)</p> <p>・自他の考えの良さを生かして、発見した課題を解決している。(他②)</p>	<p>・行動観察</p> <p>・自己評価</p> <p>・相互評価</p>
5	<p>ふりかえり</p> <p>学習活動をふりかえり、自分の夢や将来と地域とのつながりを考える。</p>	○		<p>・自己の夢や将来を考えている。(自②)</p>	<p>・行動観察</p> <p>・ワークシート</p>

【学習方法に関すること】

ア 相手や目的に応じて表現を工夫しわかりやすく発信する。(思考力・判断力・表現力)

【自分自身に関すること】

イ 自ら関心を持って調査したり探究したりする。(主体性)

ウ 自己の夢や将来を考える。(自己理解)

エ 新しいアイデアや自分なりの工夫を考えて取り組む。(創造力)

【他者や社会のかかわりに関すること】

オ 異なる意見や他者の考えも生かして、より良い考えを導く。(協調性)

カ 自他の考えの良さを生かして、発見した課題を解決する。(課題発見・解決力)

8 本単元で育成したい重点の資質・能力の評価基準

資質・能力	評価基準
課題発見・解決力	<p>A 進んで問題を発見し探究する中で、他者の考えも参考にしながら考えを深め、より良い解決につないでいる。</p> <p>B 発見した問題を探究し、自らの考えに基づき、より良い解決につないでいる。</p> <p>C 発見した問題を考え、自分なりの解決につないでいる。</p>

9 指導と評価の計画 (全5時間) (本時は4/5)

10 本時の学習

(1) 本時の目標

観光大使になって、三原の良さをPRする。

(2) 観点別評価規準

- ・相手や目的に応じた表現を工夫し、わかりやすく発信している。(学①)
- ・自他の考えの良さを生かして、発見した課題を解決している。(他②)

評価方法：行動観察 自己評価（ルーブリック） 相互評価

(3) 準備物

- ・ポスター
- ・付箋紙
- ・ルーブリック評価表

(4) 学習の展開

	学習活動	指導上の留意点 (■) (配慮を要する生徒への支援◆)	評価規準 教科の指導事項 (○) 資質・能力 (☆) (評価方法)
導入	<p style="text-align: center;">課題の設定</p> <p>○本時の目標と学習の流れを確認する。</p> <p>学習課題「あなたが『三原観光大使』に選ばれたら？」</p>	<p>■評価の視点を明確にする。</p> <p>到達目標:三原の良さをPRする。 活動目標:相手に分かりやすく伝えるためにポスターセッションする。</p>	
展開	<p style="text-align: center;">まとめ・創造・表現 情報の収集</p> <p>○グループごとに前回までに作ったポスター・ちらし等をもとにPR活動をする。</p> <p>手順 ①教室正面で班ごとにPR活動 (PRする前に表現の工夫について述べておく→終了班からポスター掲示。)</p> <p>②全班発表終了後、フロアから各班のポスターに気づきを付箋紙にまとめて貼りに行く。 (PR表現の工夫について視点をしぼる。)</p> <p>③終わったら自席に戻って意見を比較し整理する。</p> <p style="text-align: center;">整理・分析</p>	<p>■聞き手を意識して、わかりやすい表現で説明している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞き取りやすい声 ・身振り ・表情 ・姿勢 <p>■三原の魅力を伝える内容を順序立てて説明している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大事なことから順番に ・発見したことを言語化 <p>○発表カテゴリー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・味わう・学ぶ・泊まる・観る・遊ぶ ・買う・楽しむ・おもてなし等 <p>◆聞き手は付箋にメモを取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共感 (青) ・改善 (赤) 	<p>☆相手や目的に応じた表現を工夫し、わかりやすく発信している。</p> <p>☆自他の考えの良さを生かして、発見した課題を解決している。 (行動観察・ワークシート)</p>

	○感想・改善点を交流する。	■発表を聞いての感想・改善点を交流。 ◆意見が出にくい場合は考える視点を与える。	
まとめ	<p>ふりかえり</p> ○ルーブリックによる自己評価。	■他のグループの意見をもとに考える。	ルーブリック表
	聞き手を意識したわかりやすい表現でPRができた。		

(5) 板書計画

到達目標: 三原の良さをPRする。
活動目標: 相手に分かりやすく伝えるためにポスターセッションする。

【感想・意見】

ポスター1

ポスター2

分かりやすく伝えるためには

(ポスター)

- ・大事なことから順番に
- ・大事なことは大きく

(発表)

- ・身振り 表情
- ・声の大きさ

【総合的な学習の時間 生徒配布ルーブリック表】

○目的：学習成果を自己評価するためのものです。レベルAを目標に頑張りましょう。

つけた いカ 力の レベル	1. 態度	2. 問題解決力	3. 考えを発信する力	4. 多様な考えを知る力
レベル A	学習に関心を持ち、積極的に取り組もうとしている。	発見した問いを、調査・探究して解決することができている。	自らの意見について根拠をもとに考えたことを、書いたり言ったりして相手に伝えることができている。	自分の意見と他の人の意見を根拠をもとに比較し、考えを深めることができている。
レベル B	学習に意欲をもって取り組んでいる。	発見した問いを、調べたり、他の人から聞いたり、自ら考えたりしてより良く解決することができている。	自分の意見について考え、書いたり言ったりして相手に伝えることができている。	自分の意見と他の人の意見を比較し、考えをまとめることができている。
レベル C	学習に関心を持たず取り組みが不十分である。	発見した問いを、解決することができなかつた。	自分の意見を相手に伝えることができなかった。	自分の意見はまとめることができていない。

*レベルCを1点，レベルBを2点，レベルAを3点として自己採点してみよう。

- 1 態度 () 点。
 2 問題解決力 () 点
 3 考えを発信する力 () 点
 4 多様な考えを知る力 () 点

/12

*レベルCがあつたら、次にはもっと努力してレベルB以上をめざそう！

身に付けた力は
反省点は